



# 相談部だより

令和3年9月27日発行

9月号 都立晴海総合高等学校 相談部

## 今年度も折り返し (turn around point?)

9月も下旬となり、秋空が気持ちよく澄みわたる季節となってきましたね。1年次生は系列選択、2年次生はプレ課研のテーマ決めと、晴海総合での新たな学びにむけた準備が本格化していきます。3年次生にとっては、公務員試験開始、民間企業の就職試験解禁、共通テスト志願票提出、指定校推薦の校内選考開始と、全学年「進路一色」の1か月になっています。

この時期、誰にとっても重要なのが**体調管理**。コロナウイルス対策はもちろんのこと、朝夕の気温差にも体が慣れていないため、いつも以上に体調の変化に気を配っていきましょう！

## 9月・10月の予定

- 9/27 (月) 文化祭閉会式・前期終業式
- 10/5 (火) 後期始業式
- 科目選択説明会(1・2年)
- 日東駒専合格ガイダンス(3年)
- 10/21(木)・/22(金) 特別考査

## ガイダンスセンターの利用について

9/27 (月)	通常通り
28 (火) 29 (水)	12:30-15:30 3
10/1 (金) 4 (月)	12:30-15:30 CC

3 : 3年生の指定校要項閲覧を優先  
CC : キャリアカウンセラーの相談日

※コロナ感染対策として :

- ・晴海ハンドブック (保護者印) の提示
- ・利用後は速やかに下校
- ご協力をお願いします。

## コロナ禍の晴海総合高校生の1日

スタディサポートの結果によると、コロナの影響で部活動時間が短くなり、これまでの高校生より2時間近く早く帰宅しているようです。寝るまでの「おうち時間」はおよそ7~8時間。満足できる過ごし方はできていますか? 「なんとなく毎日がすぎていく」「家で勉強しなくなった。このままで大学受験は大丈夫かな?」



このように感じたら、後期が始まる前に、生活を見直しましょう。「**毎日の学習時間を2時間に設定**」するだけで、これまで漫然と過ごしていた夜の時間が凝縮されて、その他モロモロのことがぐっと楽しくなるはず。(言うまでもなく、受験生は猛勉強期です)

## 自宅学習のススメ

9月下旬、Classiの学習動画・ドリルの利用に機能をひとつ追加します。学校で実施する実力テストの結果に紐づいて、一人ひとりにおすすめのコンテンツが自動でアップされるようになります。テストで解けなかった問題の類題の解説動画(5分程度)とドリルがセットになって、20個くらいのコンテンツが表示されるようになります。ぜひ利用してみましょう!

## 指定校推薦一覧

8月5日に、令和4年度入学生用の情報を更新しました。上智・東京理科・青学・法政ほか、今年も多くの大学・短大・専門学校から指定校枠をいただきました。自分のライフプランに合わせて「学びたいこと」「身につけたいこと」が習得できる学校であれば、目標のひとつに加えてください。指定校推薦を得るためには1年次から意識して科目選択をして学習に取り組むだけでなく、資格取得に挑戦することが重要になります。「ぼーっと見てる」のではなく、指定校一覧表から「今、やるべきこと」を見つけてください。

## 高大連携「オンライン講座」について

「Classi」で既に情報を伝達していますが、「高校生と大学生のための金曜特別講座」（東京大学教養学部主催）9月下旬以降のラインナップが発表になりました。2F大職員室前にポスターを掲示してあります。金曜日夕方 17:30～19:00 限定の Zoom ライブ配信講座です。協定を結んだ高校のみに向けて東京大学の先生方が講義をして下さいます。面白そうな講座があったら、ぜひ参加しましょう。各講座の開催 10 日前までに、相談部担当（鈴木）に直接申し込んで下さい。もちろん参加費は無料です。

## Don't give up! Never!

よく「失敗しても諦めるな」とか、「人生七転び八起き」とか言いますが、あなたは何回までなら諦めずに挑戦し続けられますか？ 5 回？ 8 回？ それとも 10 回？

もう一つ質問します。あなたは何歳までなら新しいことにチャレンジできますか？ 30 歳？ 40 歳？ それとも 50 歳？

その姿形を皆さんもどこかで見かけたことがあるであろう、一人のアメリカ人は、60 歳を超えて新しいチャレンジを始め、約 1000 回のターンダウン（＝商談、提案の突き返し）を乗り越えて夢を実現しました。この人物は誰でしょうか？ 次のヒントから当ててみてください。

彼はいくつかの職業を経験した後、好評だった鶏肉の調理法を引っ提げて新しいビジネスを始めようと考えました。でも、調理法を一つの企業に売却するだけだったら、一時的に大金が回り込むかもしれないけれどそれで終わってしまいます。そこで彼は、調理法とレストラン経営のコンサルタント業務をセットで売り出し、売れた商品 1 点につきいくら貰うということを考えました（※）。これならレストランが続く限り、彼にも儲けの一部が入ってきます。

しかし、高齢で、髭を蓄え、白い上下のスーツを着た彼の姿はどこか滑稽に見えたのかもしれませんが、多くのレストランで門前払いを食らい続け、彼の提案に初めて乗ってくれたのは、売り込みを始めてから千何人目の経営者でした。

さあ、この人が誰かわかりましたか？ 答えは、ケンタッキー・フライド・チキンの生みの親カーネルサンダースです。ちなみに「カーネル＝Colonel」とは彼の名前ではなく、貢献を讃えられてケンタッキー州から授与された名誉称号です。カエルのケロちゃん人形や不二家のペコちゃん人形に続いて彼の等身大の立像を街で見かけることはなくなりましたが、初めて見た時のインパクトは今も脳裏に焼き付いています。それはさておき、辛くて何もかも投げ出したくなった時、あるいはここが人生の勝負所と思う時には、過去の偉人の不撓不屈の精神を思い出すのもアリかもしれません。もちろん実際には、「諦めない精神」と同等に「引き返す勇気」も大切です。でも、仕事や事業でなく「人生そのもの」は簡単に諦めてほしくない。特に若い人たちには一と強く思います。人生、辛いことばかりじゃない、楽しいこともきっとある、そう信じて苦難の時をなんとか乗り切ってもらいたいです。

希望進路実現のために取り組んでいることに対する考え方もポジティブにしましょう。今やっている勉強や、日々重ねている努力は、単なる、行きたい学校や会社に入るための手段ではありません。本気で取り組めば、それ自体が皆さんを鍛え、生きていく術を身につけさせてくれる一言わば皆さんの血肉となってくれるものなのです。

これから大学入試や就職試験にチャレンジする 3 年次の皆さん、「自分を信じる」というのは「言うは易く、行は難い」ことですが、「コツコツ努力し続ければ自分は必ず伸びる」という信念を抱いて、最後の試験結果が出るまで集中力を保って取り組んでください。

（※）これが、今では随所で見られるようになった「フランチャイズ方式」です。

